臺灣日日新報 昭和十六年十月十九日（日曜日） 第一万四千九百四十七號 （一）

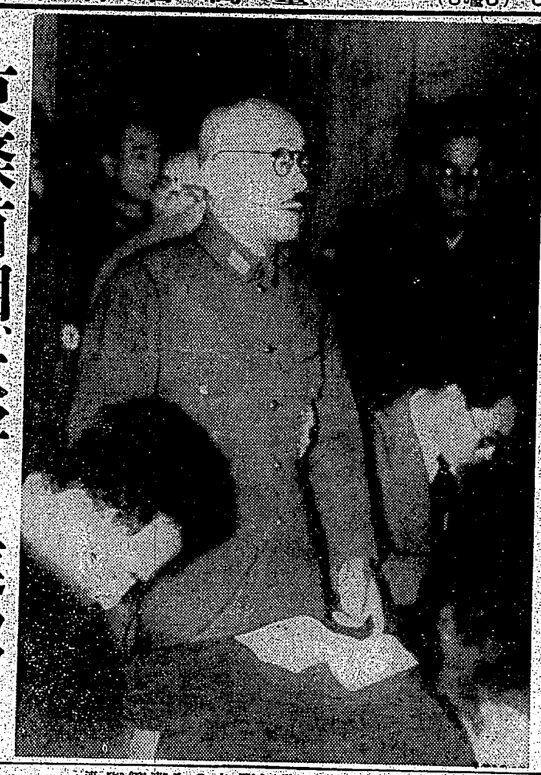
臺灣昌新報 （第二版） 本日四頁 （明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）

國防體制を完備し 聖業達成に邁進

東條首相、初の談話發表

【東京本社特電】東條總理大臣は十八日午後五時二十三分宮中を退出、直ちに首相官邸に入り同五時二十五分初閣議を開催、新内閣の國策遂行に關する心構へに對する打合せを遂げ同四十分散會、同五十分記念撮影をなしたる後、記者團に對し東條首相より左の如き談話をなした

支那事變を完遂し大東亞共榮圏を確立して世界平和に寄與するは帝國不動の國是なり、今や未曾有の重大世局に臨む、政府は外愈々盟邦との交誼を厚うし、内は國防國家體制を完備し、御稜威の下倍々擧國一體聖業の達成に邁進せむことを期す（寫眞は大命降下の東條陸相、十六日陸相官邸に於て記者團と會見）



東條首相、大將に進級

親任式擧行遊ばさる

【東京發同盟】内閣總理大臣東條英機中將は十八日閣下に大將に任ぜられ、同日午後五時宮中東溜間において親任式を擧行遊ばされた

右につき陸軍省より左の如く發表された

【陸軍省發表】本日左の通り發令せられたり

任陸軍大將

陸軍中將從三位勳一等 東條英機

戰時政治の强行

新内閣に課された使命

【東京發同盟】内閣總理大臣兼陸軍大臣東條英機、内務大臣兼文部大臣安藤紀三郎、大藏大臣賀屋興宣、司法大臣岩村通世、厚生大臣小泉親彦、農林大臣井野碩哉、商工大臣小金義照、鐵道大臣八田嘉明、遞信大臣寺島健、拓務大臣兼大東亞大臣鈴木一、國務大臣星野直樹、國務大臣鈴木貞一、國務大臣左近司政三、國務大臣岡部長景、内閣書記官長（一等）

任内務次官（一等）

内務次官 湯澤三千男氏

東條内閣初人事

【東京本社特電】十八日總理兼内務大臣東條英機は午後五時より初閣議に先き立ち昭和八年分を決定した

任二等 同

任三等 同

任四等 同

任五等 同

任六等 同

任内務大臣官房長（一等）

内務大臣官房長 宮城 重徳

任内務大臣官房文書課長（一等）

内務大臣官房文書課長 岡田 周一

任内務大臣官房人事課長（一等）

内務大臣官房人事課長 藤原 銀次郎

任内務大臣官房會計課長（一等）

内務大臣官房會計課長 森山 鋭一

任内務大臣官房地方課長（一等）

内務大臣官房地方課長 田邊 直要

任内務大臣官房都市計畫課長（一等）

内務大臣官房都市計畫課長 湯澤 三千男

任内閣書記官長（一等）

内閣書記官長 星野 直樹

任内閣調査官（一等）

内閣調査官 岡部 長景

任内閣調査官（一等）

内閣調査官 鈴木 貞一

任内閣調査官（一等）

内閣調査官 佐藤 賢了

任内閣調査官（一等）

内閣調査官 谷 正之

任内閣調査官（一等）

内閣調査官 奥村 喜和男

任内閣調査官（一等）

内閣調査官 平沼 騏一郎

任内閣調査官（一等）

内閣調査官 森山 鋭一

任内閣調査官（一等）

内閣調査官 岡田 周一

任内閣調査官（一等）

内閣調査官 藤原 銀次郎

任内閣調査官（一等）

内閣調査官 田邊 直要

任内閣調査官（一等）

内閣調査官 湯澤 三千男

任内閣調査官（一等）

内閣調査官 谷 正之

任内閣調査官（一等）

内閣調査官 奥村 喜和男

任内閣調査官（一等）

内閣調査官 平沼 騏一郎

【情報局發表】各大臣現任式を左の如く擧行せられた

内閣總理大臣兼内務大臣、陸軍大臣

東條 英機

依願本官

谷情報局總裁

親任式擧行

【東京發同盟】東條内閣總理大臣兼陸軍大臣は十八日午後十一時東京陸軍大臣官邸に於て親任式を擧行せられた

昨夕首相西下

【東京本社特電】東條總理は十八日夜十一時東京發特別列車にて伊勢の國神宮參拜のため西下したが二十日早朝國神宮參拜を終へ直ちに歸京の豫定である

現役將官の首相

前例なき陸相兼攝

政戰兩略の一體化完璧

【東京發同盟】東條新内閣は現役陸軍大將の東條陸相及び内相の二つの顯職を兼攝することとなつたが現役將官の首相が陸相を兼攝した例は未だ曾つて無く、又内相と陸相とは本來全く別個の職務であり、これを一人で兼攝することは、從來の慣例を破つたものであるが、これは時局の緊迫化が要請するものと見られ、又、現在の陸軍部内の實情からしても東條陸相が内相を兼攝することは最も適當であるとされてゐる

翼賛會副總裁

安藤紀三郎陸軍中將 内定

【東京發同盟】翼賛會副總裁には安藤紀三郎陸軍中將が内定した

たゞ鐵石の信念と 迅速的確なる實行

新總理、國民に所信披瀝

【東京發同盟】東條首相は十八日午後七時初閣議後首相官邸より左の如きマイクを通じて「大命を拜して」と題し、全國民に訴し發表の如く新内閣の擔當と信ずるところを

未曾有の重大世局に際會して不肖ながら大命を拜し、政戰兩略の一體化を圖り、擧國一體聖業の達成に邁進せんとするに當り、所信の一端を述べ、國民諸君の深甚なる理解と協力とを希望する次第であります

【東京發同盟】東條首相は十八日午後三時、正副陸相を始め陸軍省關係部局長官を招致し、次の如く訓示した

諸官は今回の内閣改造に際し、新たなる方針を確立し、國防國家體制の完璧を期すべく、新たに陸軍大臣の重職を拜することとなつたが、諸官の協力を切望する

【東京發同盟】陸相東條中將は十八日午後三時、陸軍省に於て、前陸相杉山元大將より陸軍大臣の職務を引繼ぎ、次いで陸軍次官、軍務局長、人事局長、兵務局長、整備局長、軍事課長、戰爭指導課長、軍務課長、兵務課長、補任課長、馬政課長、航空本部總務部長、航空總監部總務部長、航空本部技術部長、航空總監部技術部長、航空本部教育部長、航空總監部教育部長、航空本部生産部長、航空總監部生産部長、航空本部動員部長、航空總監部動員部長、航空本部整備部長、航空總監部整備部長、航空本部通信部長、航空總監部通信部長、航空本部燃料部長、航空總監部燃料部長、航空本部建築部長、航空總監部建築部長、航空本部經理部長、航空總監部經理部長、航空本部衛生部長、航空總監部衛生部長、航空本部獸醫部長、航空總監部獸醫部長、航空本部軍醫部長、航空總監部軍醫部長、航空本部法務部長、航空總監部法務部長、航空本部副官、航空總監部副官、航空本部附、航空總監部附、陸軍航空本部參謀、陸軍航空總監部參謀、陸軍航空本部教官、陸軍航空總監部教官、陸軍航空本部研究部員、陸軍航空總監部研究部員、陸軍航空本部技術部員、陸軍航空總監部技術部員、陸軍航空本部教育部員、陸軍航空總監部教育部員、陸軍航空本部生産部員、陸軍航空總監部生産部員、陸軍航空本部動員部員、陸軍航空總監部動員部員、陸軍航空本部整備部員、陸軍航空總監部整備部員、陸軍航空本部通信部員、陸軍航空總監部通信部員、陸軍航空本部燃料部員、陸軍航空總監部燃料部員、陸軍航空本部建築部員、陸軍航空總監部建築部員、陸軍航空本部經理部員、陸軍航空總監部經理部員、陸軍航空本部衛生部員、陸軍航空總監部衛生部員、陸軍航空本部獸醫部員、陸軍航空總監部獸醫部員、陸軍航空本部軍醫部員、陸軍航空總監部軍醫部員、陸軍航空本部法務部員、陸軍航空總監部法務部員、陸軍航空本部副官、陸軍航空總監部副官、陸軍航空本部附、陸軍

社說

東條新內閣と國民の態度
默々として其の御導に追隨せよ

一

第三次東條內閣は、國內情勢並に國際情勢の一大轉機に於て去る十六日親任式を擧げ、直ちに閣議を開いて茲に大政翼贊の臣道實踐に邁進すべき第一歩を踏み出したのである。

東條內閣の成立は、單なる政變的なものでもなければ、また軍部獨裁の現れでもない。それは、現下の內外重大時局を克服して、大東亞戰爭を完遂し、以て皇國の興廢を決すべき重大使命を遂行するために、擧國一致の體制を確立せんとする、國民總意の具現に外ならないのである。

東條內閣は、國內體制の刷新強化と、國力の飛躍的增强とを圖ることによつて、大東亞戰爭の完遂に邁進せんとするものであるが、それは、決して軍部獨裁の現れでもなければ、また軍部の壓力によつて出來たものでもない。

二

かくて東條內閣は、閣員の大命を拜するや直ちに閣議を開き、東條內閣總理大臣の施政方針を決定し、直ちに陸軍三長官會議を開き、翌十七日午前中に閣議の變更を終り午後二時參內、天皇陛下に親閱せつつられ、閣員全員を率ゐ、午後二時親任式を執り行はせられ、ここに大命降下後一日にして內閣を完了、東條內閣總理大臣は、直ちに陸軍三長官會議を開き、翌十七日午前中に閣議の變更を終り午後二時參內、天皇陛下に親閱せつつられ、閣員全員を率ゐ、午後二時親任式を執り行はせられ、ここに大命降下後一日にして內閣を完了、東條內閣總理大臣は、直ちに陸軍三長官會議を開き、翌十七日午前中に閣議の變更を終り午後二時參內、天皇陛下に親閱せつつられ、閣員全員を率ゐ、午後二時親任式を執り行はせられ、ここに大命降下後一日にして內閣を完了した。

東條內閣總理大臣は、內閣の大命を拜するや

東條內閣の誕生を悦ぶ

全幅の信頼寄せる
長谷川總督 新內閣を語る

慢性意識の清算へ
本島人諸君は眞の日本人たれ！

本間軍司令官の所懷
文字通り剛毅果斷
陸大時代から頭腦明晰

萬死恐れぬ頑張
強い責任感
荻洲中將 東條さんを語る

けふから後期訓練
我等の大空を護れ！

本格的の訓練實施
十九、廿日の兩夜燈火管制

聖上陛下御親拜！燦光榮に魂英

靖國神社臨時大祭第三日

天皇陛下御親拜
十七日に神嘗祭の御儀

學習院御在學の各若宮
護國の英靈に御參拜

名譽の家へ花束慰問
島都の學童ら大祭日行事

これぞ純戰內閣
閣僚に陸海軍の五將星づらり
力強い發足で時局克服

先づ國難突破を誓ふ
新首相伊勢大廟に親任奉告

海軍用地受納式
許、吉田兩氏から目錄贈呈

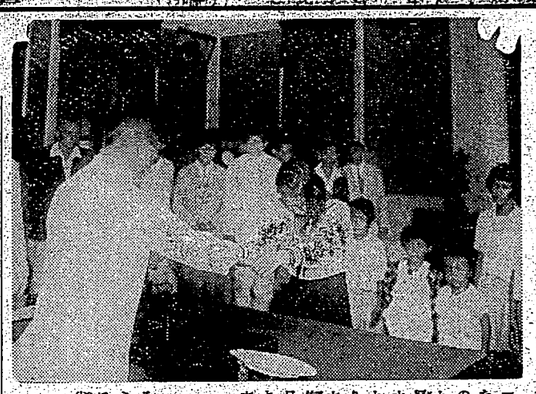
必勝を祈願
神宮大會への臺灣代表團

高燥な 眺望絶佳な 地域
獻納の二地域

家の門柱は 常盤住宅
會社へ
一つ建が家がて金我掛い安
案內書贈呈
支店 高雄 南進堂
臺北市千歲町二ノ一一三 電(五一)八〇八
會葬御禮 夫王 親族 昔一 同華

各地終合版

父靖國へ凱旋の日
譽れ輝く〝勳兒の家〟
本間軍司令官餞の表彰狀



【高雄電話】高雄州では父靖國へ凱旋の日を迎へる〝勳兒の家〟の表彰狀を本間軍司令官から授與することとなつたが、その第一號は左の如く決定した

表彰狀　水田　勝子

右者父母ノ膝下ニ在リテ父ノ英靈ヲ奉ジ母ニ孝ニ弟妹ヲ愛シ父ノ後ヲ慕ヒ以テ皇國ノ女子ノ本分ヲ全フシ其ノ模範タルニ依リ茲ニ表彰ス

昭和十六年十月十八日

臺灣軍司令官正四位勳一等　本間雅晴

【高雄電話】表彰狀にある勝子ちやんは父を失ひ七歳のうら若い乙女の身で大人の弟妹の父となり或は母として遺兒の家庭に樂しい努力を續けてゐる熱心の大和撫子　水田勝子さんは父勝藏一人の乙女として數に乘人數多き臺灣本部より勳兒の名を與へられた今感激に堪へず〝國の柱に〟〝神への盾に〟と誓つた晴れの凱旋大祭の十八日高雄驛頭より高雄第一公學校の隊長として佐々木分隊長より

これが軍司令官から君への賞狀だと代つてだの表彰狀と金一封をお渡しいたします

その表彰狀と金一封を前に勝子さんに感激したが感謝の言葉を述べる餘裕もなく唯〝有難うございます〟と繰返すばかりで感激に堪へぬ面持ちで退出した

慶子さん頑張れ！
本間軍司令官溫愛の激勵

【高雄電話】高雄州勳兒の家の表彰狀を受けた〝國の柱〟水田勝子さんの家庭は左の如くである

表彰狀　水田　慶子

右者父母ノ膝下ニ在リテ父ノ英靈ヲ奉ジ母ニ孝ニ弟妹ヲ愛シ父ノ後ヲ慕ヒ以テ皇國ノ女子ノ本分ヲ全フシ其ノ模範タルニ依リ茲ニ表彰ス

昭和十六年十月十八日

臺灣軍司令官正四位勳一等　本間雅晴

表彰狀

右者父母ノ膝下ニ在リテ父ノ英靈ヲ奉ジ母ニ孝ニ弟妹ヲ愛シ父ノ後ヲ慕ヒ以テ皇國ノ女子ノ本分ヲ全フシ其ノ模範タルニ依リ茲ニ表彰ス

昭和十六年十月十八日

臺灣軍司令官正四位勳一等　本間雅晴

〝海の魂〟身を以て體驗
師範學校生徒馬公で猛訓

吉田信三大佐在野戰一年八ケ月兩次二回に渉る戰の勇姿を偲ばんが爲め十八日發馬したが左の如く語る

愈々馬公要港の仕事に携はることとなつたが、今まで戰線等として指揮ばかりして來たので仕事には全く無關係でこの點地方官民の御指導と御援助を仰ぎたい、幸ひに十七年前に約四ケ年居つたことがあり、又戰線等として勤務した關係上

この感激、この歡喜
われら皇國の民
山の青年赤心の獻金

高砂族青年團の感激はいやが上にも高まつてゐるが、その現れとして獻金に、慰問に數々の美談を生んでゐる、中にも中原蕃童吉田一郎、中原蕃童吉田一夫君兄弟は各自一圓それぞれ二圓、マカナジ・武藏第十二號名義の二圓、アイワイス君も二圓、マカナジ・武藏第十二號名義の二圓、それぞれ國防獻金にと申出たので警察官吉田一郎原文のまゝ

私ども今四月官の御應召内地視察をせて戴き色々と内地の狀況を見聞して日本の國の偉大なる事に驚くと共に、又銃後國民の一人として何事かお國の爲めに盡さねばならないと痛感して居ります、又此の御恩返しをしなければならないと思つて居りますが私共高砂族は唯一人として不自由で働く事の出來ないのは眞に相濟まない事と思ひますが私共高砂族は官の御指導によつて日夜銃後の務を固めて居りますが此の心持と御援助を感謝の意を表し、ささやかな金額ではありますが國防獻金として差上げますから何卒宜しく御取計ひ下さいますやうお願ひ致します

厚生事業大會
臺中州提案事項

【臺中電話】來る三十日から臺北で開催される厚生課長會議に提出する臺中州提案事項は次の通り

一、農業經營の合理化に關する件
二、農業勞務者の養成に關する件
三、方面委員令實施方策樹立の件
四、保護救濟事業に關する件
五、農業副業の奬勵に關する件
六、農業倉庫の設置に關する件
七、社會事業團體の整理統合に關する件
八、農業保育所の設置方策樹立の件

第二回勤行報國青年隊
きのふ晴れの入隊式

【花蓮港電話】去る七月以來花蓮港廳下の青年團所屬青年隊員の第二回勤行報國隊入隊式は十八日午前十時から廳舍前廣場に擧行、廳下各地から參集した隊員二百名は三列縱隊に整列した儘中央に設けられた臺座に向つて最敬禮、三百名は三分間に亘る嚴肅な默禱を捧げ無事任務を果して元氣で歸つて來る樣にと祈つた、次で國旗掲揚、國歌齊唱、宮城遙拜、國民精神作興に關する詔書奉讀、勅語奉讀、訓示、宣誓、國旗降下、解散と式を終つた、尚ほ隊員は十九日午前八時花蓮港驛發列車で臺北に向ひ二十日から二十八日迄臺北練成所で訓練を受ける筈

防衛團、モンベ部隊活躍
北斗郡の防訓

【臺中電話】北斗郡下に於ける各防衛團、消防組の共同防火作業竝に燈火管制の訓練は十九日午前二時から北斗國民學校を中心として實施されたが、當日は豫報通り北風強く、時折小雨さへ降つて悪條件の下に行はれたが、各團員は非常呼集の警鐘と共に續々參集、午前三時には全員參集を終つた、次で各團員は三組に分れ、一組は北斗國民學校を中心として北斗驛、北斗公會堂、北斗郵便局、北斗信用組合、北斗庄役場、北斗警察官駐在所、北斗電話局、北斗製糖會社、北斗病院、北斗女學校、北斗高等女學校、北斗實業學校、北斗國民學校、北斗神社、北斗小學校、北斗公學校、北斗青年團事務所、北斗消防組事務所、北斗國防婦人會事務所、北斗警防團事務所、北斗國民學校裏門、北斗國民學校表門、北斗國民學校裏門、北斗國民學校表門、北斗國民學校裏門、北斗國民學校表門